

※修了は、修業期間を満了しその間の出席率が7割以上であること、各レベルごとの期末試験を受けていること、最終学期の各科目の成績が6割以上であることを要件とする。

	授業科目名	読解	聴解	会話	発表	作文	総合活動	言語知識(文法)	言語知識(語彙)	文字
	言語活動	読む	聞く	話す(やりとり)	話す(発表)	書く	読む、話す(やりとり・発表)	読む・書く	読む・書く	読む・書く
科目全体	到達目標 Can do	教員の助けがなくとも自力で日本語による一般書を読み、適切な資料も参考にしながら必要な情報を取り出し理解ができる。	講義や講演を聞いて主題、要点、必要とされている事柄が理解できる。教員の指示や学生の話す内容を聞いて十分に理解できる。	進学先において幅広い話題についてのやりとりがスムーズにできる。授業内外での議論に参加でき、ワークショップ、ディスカッション等において協業ができる。	進学先における講義やゼミなどで、専門的かつ幅広い話題について明確に発表、プレゼンテーションや意見提示ができる。	説得力、結束性のある明瞭で詳細な文章を、与えられたテーマや条件を遵守しつつ書くことができる。	与えられたテーマや資料の主題や要点を理解し、それらにもとづいた意見交換や共有ができる。立場や意見が異なる他者とも協働的に進めることができる。	一般書の内容や講義の概要を把握するための文法が理解できる。議論に参加したり意見や考え、立論を発信するための文法を持ち使うことができる。	一般書の内容や講義の概要を把握するための語彙が理解できる。議論に参加したり意見や考え、立論を発信するための語彙を持ち、使うことができる。	一般書や資料の概要を理解するための文字をある程度独力で読むことができる。 与えられたテーマに基づいた、理解可能な文章を書くために必要且つ適当な文字を選んで、使うことができる。
	総学習時間	280単位時間	180単位時間	240単位時間	180単位時間	160単位時間	100単位時間	160単位時間	200単位時間	100単位時間

		授業科目名	読解	聴解	会話	発表	作文	総合活動	言語知識(文法)	言語知識(語彙)	文字
		言語活動	読む	聞く	話す(やりとり)	話す(発表)	書く	読む、話す(やりとり・発表)	読む・書く	読む・書く	読む・書く
参照枠	レベル 設定	学習目標 Can do	非常に短い簡単な文を、身近な名前、単語や基本的な表現を1つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。	・当人に向かって、ていねいにゆっくりと話された指示なら理解できる。 ・身近で具体的なものに関するごく基本的な表現や単語が聞き取れ、短い簡単な説明や会話なら理解できる。	・簡単な質問を聞いたり答えたりすることができる。 ・直接必要なことや身近な話題についてであれば、自分から言ったり相手に反応したりできる。	・人物や場所、自分が知っている事柄や自分のことについて、簡単な語句を並べて表現できる。 ・将来の目標や勉強したいことについて簡単なことばで伝えられる。	・簡単な表現や文を単独に書くことができる。 ・出身地や家族などの自分に関する身近なことならば、簡単な語彙を組み合わせで短い文を書くことができる。	身近で簡単な内容の読み物を読んで主題を理解し、それについてクラスメイトとごく簡単に意見伝達や反応ができる。	日常的に出会う具体的な場面において多用される、限られた幾つかの文法構造や構文を、単独で使うことができる。	日常的に出会う具体的な場面において、ほぼ毎日のように使われる限られた語彙を理解し、具体的な要求を満たすために単独もしくは幾つかを並べて使うことができる。	日常的によく見るものやよく使うものの名前を読んだり、自分に関する基本的な情報を伝えるための限られた文字を書いたりすることができる。
		学習成果の 評価・成績	【評価項目①】 簡単な既習語彙・表現が、時間をかければ理解できる (時期・頻度)各課毎 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目②】 非常に短い簡単な文を、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる (時期・頻度)初級前期終了前1回 (評価の方法・基準)試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) 自己評価20%、試験評価80% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 身近で具体的なものに関するごく基本的な表現や単語が聞き取れる (時期・頻度)各課毎／初級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【評価項目②】 短い簡単な説明や会話なら理解できる (時期・頻度)各課毎／初級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【評価項目③】 当人に向かってていねいにゆっくりと話された指示なら理解できる (時期・頻度)初級前期終了前1回 (評価の方法・基準)試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) 自己評価20%、試験評価80% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 簡単な質問を聞いたり答えたりすることができる (時期・頻度)授業毎 (評価の方法・基準)各課に定められたCan-do項目の自己評価 【評価項目②】 直接必要なことや身近な話題についてであれば、自分から言ったり相手に反応したりできる (時期・頻度)初級前期1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) 自己評価20%、パフォーマンス評価80% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 周囲の人の紹介(自分が知っている事柄について、簡単な語句や文を使って表現できる) (時期・頻度)初級前期中2回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【評価項目②】 日本語学校を卒業したら(将来の目標やしたいことについて簡単なことばで伝えられる) (時期・頻度)初級前期中1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 簡単な表現や文を単独に書くことができる (時期・頻度)週毎 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価 【評価項目②】 出身地や家族などの自分に関する身近なことならば、簡単な語彙を組み合わせで短い文を書くことができる (時期・頻度)週毎／初級前期終了前1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 身近で簡単な内容の読み物を読んで理解することができる (時期・頻度)週毎 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目②】 ごく簡単な語句で自分の意見を伝えることができる (時期・頻度)隔週 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価 【評価項目③】 クラスメイトの意見に耳を傾けて、同意する、うなづくなどの反応を示すことができる (時期・頻度)隔週 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価 【評価項目④】ある主題について「読んで理解すること」「理解した内容について自分の意見を伝えること」「他者の意見に耳を傾けて反応を示すこと」が、各々を組み合わせた上で統合的にできる (時期・頻度)隔週 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 日常的に出会う具体的な場面において多用される、限られた幾つかの文法構造や構文を、単独で読むことができる (時期・頻度)各課毎／2課毎 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【評価項目②】 日常的に出会う具体的な場面において多用される、限られた幾つかの文法構造や構文を、単独で書くことができる (時期・頻度)各課毎／2課毎 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) 試験評価80%(項目①6割、項目②4割)、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 日常的に出会う具体的な場面において、ほぼ毎日のように使われる限られた語彙を理解し、具体的な要求を満たすために単独もしくは幾つかを並べて書くことができる (時期・頻度)各課毎／2課毎 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【評価項目②】 日常的に出会う具体的な場面において、ほぼ毎日のように使われる限られた語彙を理解し、具体的な要求を満たすために単独もしくは幾つかを並べて書くことができる (時期・頻度)各課毎／2課毎 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) 試験評価90%(項目①6割、項目②4割)、自己評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 日常的によく見るものやよく使うものの名前を読んだり、自分に関する基本的な情報を伝えるための限られた文字を書くことができる (時期・頻度)各課毎／初級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【評価項目②】 自分に関する基本的な情報を伝えるための限られた文字を書くことができる (時期・頻度)各課毎／初級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) 試験評価90%(項目①6割、項目②4割)、自己評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと
		学習時間	20単位時間	20単位時間	40単位時間	10単位時間	10単位時間	10単位時間	20単位時間	20単位時間	50単位時間
A1	初級1	授業科目の概要	【学習内容】 ・日本文化に関する短い文章を読む ・出来事が書かれた簡単な文を読む 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習形態】 内容確認の問答、教員対生徒全員による知識導入及び問題演習、テーマに関する簡単な意見交換	【学習内容】 ・あいさつなどの定型的表現を聞き取る ・道順やスケジュール、注文内容など日常的な会話を聞き理解する ・日常生活や学校生活におけるルールや説明を聞き理解する ・他者の簡単な意見や感想、自分への問いかけを聞き取る 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、議論 【学習形態】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説	【学習内容】 ・学校、店、駅、病院など日常的な場面で簡単なやりとりをする ・出身地、家族、趣味、予定など自分に関することを短い文でやりとりする ・自分の身近な話題について簡単な意見を述べ短く受け答える 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、議論 【学習形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、ペアワーク・グループワークと振り返り	【学習内容】 ・家族や友人など自分に身近な人を紹介する ・自分の目標、将来について簡単な言葉でスピーチする 【授業の形式】 知識・情報の伝達、発表 【学習形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、グループ内またはクラス全体での発表と振り返り	【学習内容】 ・ひらがなカタカナの練習 ・出身地、周囲の人、1日の出来事など自分に身近な事柄について書く ・他者の意見、表現を学習し、目で見、耳で聞いて理解することなどについて書く 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒による作文執筆、教師による添削・フィードバック 【学習の形態】 教員による趣旨説明、準備となる問題演習・解説、執筆、教員によるフィードバック	【学習内容】 ・旅行についてなど身近な話題について書かれたものを読み、それについてごく簡単に自分の意見を話す ・他者の意見を聞いて理解し、コメントや反応をする 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、議論 【学習の形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、ペアワーク・グループワークと振り返り	【学習内容】 ・学校、店、駅、病院など日常的な場面で簡単なやりとりをしたり、自分に関することを短い文でやりとりするために必要な語彙、語句を学習し、目で見、耳で聞いて理解する ・場面や目的に応じて適切に選択し、使うための練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、運用練習と振り返り	【学習内容】 ・学校、店、駅、病院など日常的な場面で簡単なやりとりをしたり、自分に関することを短い文でやりとりするために必要な語彙、語句を学習し、目で見、耳で聞いて理解する ・場面や目的に応じて適切に選択し、使うための練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、読み書きの練習と教師による添削・フィードバック、振り返り	【学習内容】 ・ひらがな、カタカナを正確に読んだり書いたりする練習を行う ・日常的によく目にするものや身の回りでよく使うもの、自分に関する基本的な情報を示すために使う限られた漢字を学習し、読み書きの練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、読み書きの練習と教師による添削・フィードバック、振り返り
		教材等	・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版初級で読めるトピック25』スリーエーネットワーク	・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版聴解タスク25』スリーエーネットワーク	・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・オンライン教材	・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』スリーエーネットワーク	・表記プリント(オリジナル教材) ・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・『みんなの日本語初級第2版やさしい作文』スリーエーネットワーク	・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版初級で読めるトピック25』スリーエーネットワーク	・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』スリーエーネットワーク	・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・オリジナル語彙プリント	・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・オリジナル漢字Forms ・オンライン上のアプリケーション ・オリジナル文字プリント

		授業科目名	読解	聴解	会話	発表	作文	総合活動	言語知識(文法)	言語知識(語彙)	文字	
		言語活動	読む	聞く	話す(やりとり)	話す(発表)	書く	読む、話す(やりとり・発表)	読む・書く	読む・書く	読む・書く	
参照枠	レベル 設定	学習目標 Can do	非常によく用いられる、具体的で身近な内容の簡単なテキストが理解できる。 簡単な意見文や感想文の要点が理解できる。 短いメッセージや日常の看板、掲示が理解できる。	はっきりゆっくりと話してもらえれば、身近で頻繁に使われる語彙や表現が理解できる。 短く明確で簡単なメッセージやアナウンスの要点が聞き取れる。	招待や提案、謝罪をしたり、それらに応じたりできる。 日常生活の中で身近な話題や活動について、簡単に意見を述べたり他者の意見に賛成や反対ができる。 あまり苦勞しなくても、日常での短いやりとりをすることができる。	人物や日常生活、日課、好き嫌いなどについて、簡単な字句を並べて述べることができる。 周囲の事情、条件などを簡単な語句を用い文で説明できる。 将来の目標ややりたいことについて簡単な語句を用い文で表現できる。	自分の周りにある日々のいろいろな側面について、つながりのある文を書くことができる。 自分のことについて、予定や希望を文でつづることができる。 モデル文があれば、身近な話題について簡単な語や表現で短い意見文が書ける。	身近で簡単な内容の読み物を読んで内容を理解し、それについてクラスメイトと簡単に意見交換や反応、共有ができる。	日常的に出会う具体的な場面において、幾つかの文法構造や構文を、複数組み合わせさせて使うことができる。	具体的な場面において、対応するために必要な範囲の語彙を理解し、日常的な交渉、取引の類を行うために幾つかを組み合わせさせて使うことができる。	日常生活で頻繁に使われる単語が連なった文を読むことができる。 自分の予定や希望、簡単なメッセージを簡潔に伝えるために必要な文字を書くことができる。	
		学習成果の評価・成績	【評価項目①】 非常によく用いられる、具体的で身近な内容の簡単なテキストが理解できる (時期・頻度)各課毎 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目②】 短いメッセージや日常の看板、掲示が理解できる (時期・頻度)該当課毎 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目③】 簡単な意見文や感想文の要点が理解できる (時期・頻度)初級後期終了前1回 (評価の方法・基準)試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) 自己評価20%、試験評価80% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 はっきりゆっくりと話してもらえれば、身近で頻繁に使われる語彙や表現が理解できる (時期・頻度)各課毎／初級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【評価項目②】 短く明確で簡単なメッセージやアナウンスの要点が聞き取れる (時期・頻度)各課毎／初級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) 自己評価20%、試験評価80% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 あまり苦勞しなくても、日常での短いやりとりができる (時期・頻度)各課毎／初級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価 【評価項目②】 招待や提案、謝罪をしたり、それらに応じたりできる (時期・頻度)該当課ごと (評価の方法・基準)各課に定められたCan-do項目の自己評価 【評価項目③】 日常生活の中で身近な話題や活動について、簡単に意見を述べたり他者の意見に賛成や反対ができる (時期・頻度)初級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) 自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 場所の紹介(周囲の事柄、条件などを簡単な語彙を使って文単位で説明できる) (時期・頻度)初級後期中2回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【評価項目②】 日本語学校卒業後の希望(将来の目標ややりたいことについて簡単な語句を用いた文で表現できる) (時期・頻度)初級後期中1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 自分の周りにある日々のいろいろな側面について、つながりのある文を書くことができる (時期・頻度)週毎 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価 【評価項目②】 自分のことについて、予定や希望を文でつづることができる (時期・頻度)初級後期中1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価 【評価項目③】 モデル文があれば、身近な話題について簡単な語や表現で短い意見文が書ける (時期・頻度)初級後期中1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 身近で簡単な内容の読み物を読んで内容を理解し、それについてクラスメイトと簡単に意見交換や反応、共有ができる (時期・頻度)週毎 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目②】 簡単な文で自分の意見を伝えることができる (時期・頻度)隔週 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価 【評価項目③】 クラスメイトの意見を聞いて、簡単な語句でコメントができる (時期・頻度)隔週 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価 【評価項目④】 ある主題について「読んで理解すること」「理解した内容について自分の意見を伝えること」「他者の意見を聞いて簡単な語句でコメントすること」が、各々を組み合わせた上で統合的にできる (時期・頻度)隔週 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 日常的に出会う具体的な場面において、幾つかの文法構造や構文を、複数組み合わせられた形で読むことができる (時期・頻度)各課毎／2課毎 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【評価項目②】 日常的に出会う具体的な場面において、幾つかの文法構造や構文を、複数組み合わせで書くことができる (時期・頻度)各課毎／2課毎 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)試験評価80%(項目①6割、項目②4割)、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 具体的な場面において対応するために必要な範囲の語彙を、日常的な交渉、取引の類を行うために幾つかを組み合わせで書くことができる (時期・頻度)各課毎／2課毎 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) 試験評価80%(項目①6割、項目②4割)、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 日常生活で頻繁に使われる単語が連なった文を読むことができる (時期・頻度)各課毎／初級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【評価項目②】 自分の予定や希望、簡単なメッセージを簡潔に伝えるために必要な文字を書くことができる (時期・頻度)各課毎／初級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) 試験評価90%(項目①6割、項目②4割)、自己評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	
		A 2	初級 2	学習時間	20単位時間	20単位時間	40単位時間	10単位時間	10単位時間	10単位時間	20単位時間	20単位時間
		授業科目の概要	【学習内容】 ・日本文化、日本語、日本人の考え方に関する短い文章を読む ・出来事が書かれた簡単な文を読む ・短い意見文、感想文などを読む ・簡単な言葉で書かれたメッセージや、日常の看板、掲示を読む 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、議論 【学習形態】 内容確認の問答、教員対生徒全員による知識導入及び問題演習、テーマに関する簡単な意見交換	【学習内容】 ・道順やスケジュールなど日常的な会話を聞く ・生活の中における注意事項、マナー、習慣を聞く ・簡単なニュースやアナウンスを聞く ・簡単なインタビューやアンケート結果を聞く 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、議論 【学習形態】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説	【学習内容】 ・学校、店、駅、病院など日常的な場面で簡単なやりとりをする ・出身地、家族、趣味、予定など自分に関することを短い文で伝えやりとりする ・子供時代の話や将来の話など自分のことについて話し短く受け答える ・自分のおすすめのものについて短く簡単な文で伝える 【授業の形式】 知識・情報の伝達、発表 【学習形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、グループ内またはクラス全体での発表と振り返り	【学習内容】 ・出身地やおすすめの観光地などを紹介する ・自分の目標、将来について簡単な言葉でスピーチする 【授業の形式】 知識・情報の伝達、発表 【学習形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、グループワーク・グループワーク	【学習内容】 ・ある程度まとまった意見文の書き方を、モデル文を参考に学び、書く ・作文の全体の構成について学び書く ・自分の将来の目標について書く 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒による作文執筆、教師による添削・フィードバック 【学習の形態】 教員による趣旨説明、準備となる問題演習・解説、執筆、教員によるフィードバック	【学習内容】 ・日本語での失敗や、ジェスチャーの違いなど身近な話題について書かれたものを読み、それについて自分のことや自分の意見を話す ・自動販売機など身近な物についての話を読み、そのメリット・デメリットについて考えたことを話す ・他者の意見を聞いて理解し、コメントする 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、議論 【学習の形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、ペアワーク・グループワークと振り返り	【学習内容】 ・日本語での失敗や、ジェスチャーの違いなど身近な話題について書かれたものを読み、それについて自分のことや自分の意見を話す ・自動販売機など身近な物についての話を読み、そのメリット・デメリットについて考えたことを話す ・他者の意見を聞いて理解し、コメントする ・場面や目的に応じて適切に選択し、使うための練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、運用練習と振り返り	【学習内容】 ・日常的な場面で簡潔なやりとりをしたり、自分に関する事実や情報、経験を簡潔な文でやりとりするために必要な文型、表現を学習し、目で見、耳で聞いて理解する ・場面や目的に応じて適切に選択し、使うための練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、読み書きの練習と教師による添削・フィードバック、振り返り	【学習内容】 ・日常生活で頻繁に使われる単語に含まれる漢字を学び、読み方を書いたり文単位で声に出して読んだりする ・自分の予定や希望、簡単なメッセージを簡潔に伝えるために必要な文字を学び、書く練習をする 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、読み書きの練習と教師による添削・フィードバック、振り返り	【学習内容】 ・日常生活で頻繁に使われる単語に含まれる漢字を学び、読み方を書いたり文単位で声に出して読んだりする ・自分の予定や希望、簡単なメッセージを簡潔に伝えるために必要な文字を学び、書く練習をする 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態】 教員対生徒全員による知識導入及び口頭練習、読み書きの練習と教師による添削・フィードバック、振り返り
		教材等	・『みんなの日本語初級Ⅱ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・『みんなの日本語初級Ⅱ第2版初級で読めるトピック25』スリーエーネットワーク ・オンライン教材	・『みんなの日本語初級Ⅱ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・『みんなの日本語初級Ⅱ第2版聴解タスク25』スリーエーネットワーク	・『みんなの日本語初級Ⅰ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・オンライン教材	・『みんなの日本語初級Ⅱ第2版本冊』スリーエーネットワーク	・『みんなの日本語初級Ⅱ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・『みんなの日本語初級第2版やさしい作文』スリーエーネットワーク	・『みんなの日本語初級Ⅱ第2版初級で読めるトピック25』スリーエーネットワーク	・『みんなの日本語初級Ⅱ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・オリジナル語彙プリント	・『みんなの日本語初級Ⅱ第2版本冊』スリーエーネットワーク ・オリジナル漢字Forms ・オンライン上アプリケーション		

		授業科目名	読解	聴解	会話	発表	作文	総合活動	言語知識(文法)	言語知識(語彙)	文字
		言語活動	読む	聞く	話す(やりとり)	話す(発表)	書く	読む、話す(やりとり・発表)	読む・書く	読む・書く	読む・書く
参照枠	レベル 設定	学習目標 Can do	・簡単な意見文や感想文の内容が理解できる。 ・具体的で身近な話題についてのある程度まとまったテキストが理解できる。	・自分に直接繋がりのある領域で頻繁に使われる語彙や表現が理解できる。 ・日常生活における事柄について、共通語で明瞭に話されたものなら主題が理解できる。	・自分に直接かかわる話題について簡潔に議論ができる。 ・日常生活において必要な社交的やりとりができる。	・粗筋を大まかに話し、感じたことをシンプルな表現で述べることができる。 ・自分の関心ごと、なじみのある話題について簡潔に述べることができる。	・身近な話題について、モデル文がなくても、簡単な語や表現をつなげた短めの意見文が書ける。 ・実際に起こった事柄や事実について、単純な文を繋ぎ合わせたテキストで記述ができる。		身近な話題や日常生活における事柄に関して頻繁に使われるパターンのレパートリーを持ち、意思を簡単に伝達できる程度に使うことができる。	身近な話題や日常生活における事柄に関して、意思を簡単に伝達するための語彙を持ち、多少のつまりや言い換えはあるものの使うことができる。	
		学習成果の 評価・成績	【評価項目①】 簡単な意見文や感想文の内容が理解できる (時期・頻度)各課毎/2課毎 (評価の方法・基準)自己評価/試験評価 【評価項目②】 具体的で身近な話題についてのある程度まとまったテキストが理解できる (時期・頻度)各課毎/2課ごと/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) 自己評価10%、試験評価90% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 頻繁に使われる語彙や表現が理解できる (時期・頻度)各課毎/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価/試験評価 【評価項目②】 日常生活における事柄について、主題が理解できる (時期・頻度)各課毎/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) 自己評価10%、試験評価90% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 自分に直接かわる話題について簡潔に議論ができる (時期・頻度)隔週/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価/パフォーマンス評価 【評価項目②】 日常生活において必要な社交的やりとりができる (時期・頻度)隔週/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価/パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 粗筋を大まかに話し、感じたことをシンプルな表現で述べることができる (時期・頻度)月毎/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価/パフォーマンス評価 【評価項目②】 自分の関心ごと、なじみのある話題について簡潔に述べることができる (時期・頻度)月毎/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価/パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 簡単な語や表現をつなげた短めの意見文が書ける (時期・頻度)中級前期中2回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価 【評価項目②】 実際に起こった事柄や事実について、単純な文を繋ぎ合わせたテキストで記述ができる (時期・頻度)中級前期中2回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 身近な話題や日常生活における事柄に関して頻繁に使われるパターンのレパートリーを理解し、読むことができる (時期・頻度)各課毎/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【評価項目②】 身近な話題や日常生活における事柄に関して頻繁に使われるパターンのレパートリーを、意思を簡単に伝達できる程度に書くことができる (時期・頻度)各課毎/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) 試験評価80% (項目①6割、項目②4割)、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 身近な話題や日常生活における事柄に関して、意思を簡単に伝達するための語彙を読むことができる (時期・頻度)各課毎/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【評価項目②】 身近な話題や日常生活における事柄に関して意思を簡単に伝達するための語彙を、多少時間をかけたり言い換えをしたりすることはあるものの、書くことができる (時期・頻度)各課毎/中級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合) 試験評価80% (項目①6割、項目②4割)、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと		
			学習時間	40単位時間	20単位時間	40単位時間	30単位時間	20単位時間	20単位時間	20単位時間	30単位時間
B1	中級1	授業科目の概要	【扱うテーマ・課題、学習項目】 「外国語学習の面白さ・難しさ」「日常見過ごしている物事への気づき・関心」「言葉の伝わり方・伝え方」「異なる文化との向き合い方」等、生活や文化に関する散文的文章を読み、内容を理解し、考察する 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、議論、発表 講義型授業の中に頻繁に個人指名や挙手指名による問答を挟む問答型授業 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入、問題演習、解説に加え、グループワークによる話し合いや発表、生徒による意見表明も併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 「外国語学習の面白さ・難しさ」「日常見過ごしている物事への気づき・関心」「言葉の伝わり方・伝え方」「異なる文化との向き合い方」等、生活や文化に関する会話聞き取り、内容を把握する 大学生生活を想定した身近な会話や日常生活の生活会を開き、それに基づいた問題演習をする 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、発表 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入、問題演習、発表も併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 「外国語学習の面白さ・難しさ」「日常見過ごしている物事への気づき・関心」「言葉の伝わり方・伝え方」「異なる文化との向き合い方」等、生活や文化に関するテーマについての意見交換、関連項目についての議論をする 大学生生活を想定した身近な会話や日常生活の生活会を、提示されたモデルに基づいて練習する 【授業の形式】 問答、議論、発表 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、グループワークによる話し合いとその内容の共有、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 「外国語学習の面白さ・難しさ」「日常見過ごしている物事への気づき・関心」「言葉の伝わり方・伝え方」「異なる文化との向き合い方」等、生活や文化に関するテーマについての意見交換をした後、各々の意見を集約したり総合的な結論を出したりして発表する 【授業の形式】 問答、議論、発表 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、グループワークによる話し合いに基づいた発表、その後振り返りを行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 「句読点や記号の使い方」「文体とその他の使い分け」「段落の作り方や構成」等の文章表現の基礎を学んだ上で、学習内容を活用し実際に文章を書いたり意見文、を書いたりする練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、文章執筆 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入、問題演習、文章執筆、解説。振り返り、教員によるフィードバック	【扱うテーマ・課題、学習項目】 「句読点や記号の使い方」「文体とその他の使い分け」「段落の作り方や構成」等の文章表現の基礎を学んだ上で、学習内容を活用し実際に文章を書いたり意見文、を書いたりする練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、文章執筆 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入、問題演習、文章執筆、解説。振り返り、教員によるフィードバック	【扱うテーマ・課題、学習項目】 「外国語学習の面白さ・難しさ」「日常見過ごしている物事への気づき・関心」「言葉の伝わり方・伝え方」「異なる文化との向き合い方」等、生活や文化に関する散文的文章を読み内容を理解する際に必要な文法、表現を学習し、理解と運用に繋げる ・意思伝達、説明、依頼、譲歩、決意、希望、等の機能を持つ文法、表現を学習し、理解した上で場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習、解説、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 「外国語学習の面白さ・難しさ」「日常見過ごしている物事への気づき・関心」「言葉の伝わり方・伝え方」「異なる文化との向き合い方」等、生活や文化に関する散文的文章を読み内容を理解する際に必要な語彙、文字を学習し、理解と運用に繋げる ・家庭内、外出時、余暇、学習、仕事、人間関係、社交にかかわる機能を持つ語彙を学習し、理解した上で適切な選択、記述ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習、読み書き練習、解説、教師によるフィードバック、振り返り	
		教材等	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 ・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 (三訂版) ワークブック』研究社 ・オンライン教材	・『テーマ別中級から学ぶ日本語(三訂版)ワークブック』研究社 ・『聴くトレーニング<聴解・聴読解>基礎編』スリーエーネットワーク ・『日本語総まとめ N3聴解』アスク出版	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 ・『会話に挑戦！中級前期からの日本語ロールプレイ』スリーエーネットワーク ・オンライン教材	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 ・『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク ・オリジナルプリント	・『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク ・オリジナルプリント	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 ・『総まとめN3/N2文法』アスク出版 ・オリジナル学習教材	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 ・『総まとめN3/N2語彙』アスク出版 ・オリジナル漢字プリント ・オリジナル学習教材		

		授業科目名	読解	聴解	会話	発表	作文	総合活動	言語知識(文法)	言語知識(語彙)	文字
		言語活動	読む	聞く	話す(やりとり)	話す(発表)	書く	読む、話す(やりとり・発表)	読む・書く	読む・書く	読む・書く
参照枠	レベル 設定	学習目標 Can do	・簡潔な事実関係の文で、自分に直接かわる分野や興味の範囲内のは、十分に主題が理解できる ・個人のメッセージを読んで、事実に関する記述に加え、書き手の感情を理解することができる	・日常生活における事柄について共通語で明瞭に話されたものなら理解できる ・共通語で発音も明瞭ならば、限られた空間、自分のまわりでの長い議論の要点を理解できる	・共通語による明瞭な発音であれば、事実に関した情報をやりとりしたり、指示を受けたり解決策を論じたりすることができる ・テーマに沿って議論に参加ができる	・経験や出来事、将来の夢や希望など、自分のことを明確に語ることができる ・意見や計画に対する理由や説明を簡潔に話すことができる ・出来事、過去の活動、個人的な経験について、適切な接続表現や文末表現でつづった文章を書くことができる。	・身近な話題について、別々の要素を1つの流れに結び付けた意見文を書くことができる ・出来事、過去の活動、個人的な経験について、適切な接続表現や文末表現でつづった文章を書くことができる。		・身近な話題や馴染みのある事柄、文化的な内容について、伝えたい要点を概ね伝えるのに必要な文法、表現を持ち、使うことができる	・身近な話題や馴染みのある事柄、文化的な内容について、伝えたい要点を概ね伝えるのに必要な語彙を持ち、簡潔なテキストにして使うことができる	
		学習成果の 評価・成績	【評価項目①】 自分に直接かわる分野や興味の範囲内のは、十分に主題が理解できる (時期・頻度)各課毎/2課毎 (評価の方法・基準)自己評価/試験評価 【評価項目②】 個人のメッセージを読んで、事実に関する記述に加え、書き手の感情を理解することができる (時期・頻度)中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) 自己評価10%、試験評価90% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 日常生活における事柄について共通語で明瞭に話されたものなら理解できる (時期・頻度)各課毎/中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目②】 共通語で発音も明瞭ならば、限られた空間、自分のまわりでの長い議論の要点を理解できる (時期・頻度)中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) 自己評価10%、試験評価90% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 テーマに沿って議論に参加ができる (時期・頻度)隔週/中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価/パフォーマンス評価 【評価項目②】 共通語による明瞭な発音であれば、事実に関した情報をやりとりしたり、指示を受けたり解決策を論じたりすることができる (時期・頻度)隔週/中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価/パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) フォームズ評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 自分のことを明確に語ることができる (時期・頻度)中級後期中2回/中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価/パフォーマンス評価 【評価項目②】 意見や計画に対する理由や説明を簡潔に話すことができる (時期・頻度)中級後期中2回/中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価/パフォーマンス評価 【評価項目③】 あらすじを話し、感想や考えを発表できる (時期・頻度)月毎 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 身近な話題について、別々の要素を1つの流れに結び付けた意見文を書くことができる (時期・頻度)中級後期中3回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価 【評価項目②】 出来事、過去の活動、個人的な経験について、適切な接続詞でつなげた文章を書くことができる (時期・頻度)中級後期中1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 身近な話題や馴染みのある事柄、文化的な内容について、伝えたい要点を概ね伝えるのに必要な文法、表現を読むことができる (時期・頻度)各課毎/中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【評価項目②】 身近な話題や馴染みのある事柄、文化的な内容について、伝えたい要点を概ね伝えるのに必要な語彙を、簡潔なテキストの形にして書くことができる (時期・頻度)各課毎/中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) 試験評価80%(項目①6割、項目②4割)、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 身近な話題や馴染みのある事柄、文化的な内容について、伝えたい要点を概ね伝えるのに必要な語彙を簡潔なテキストの形で読むことができる (時期・頻度)各課毎/中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【評価項目②】 身近な話題や馴染みのある事柄、文化的な内容について伝えたい要点を概ね伝えるのに必要な語彙を、簡潔なテキストの形にして書くことができる (時期・頻度)各課毎/中級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90%、B＝89-75%、C＝74-60%、D＝59-30%、E＝30%未満 (評価項目の構成割合) 試験評価80%(項目①6割、項目②4割)、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと		
			学習時間	4 0 単位時間	2 0 単位時間	4 0 単位時間	3 0 単位時間	2 0 単位時間	2 0 単位時間	3 0 単位時間	
B 1	中級 2	授業科目の概要	【扱うテーマ・課題、学習項目】 「思い込みの影響」「IT技術との付き合い方」「人間関係のあり方」「自分の文化への気付きと理解」等、生活や文化に関するエッセイ風の文章を読み、内容を理解し、考察する 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、議論、発表 講義型授業の中に頻繁に個人指名や挙手指名による問答を挟む問答型授業 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入、問題演習に加え、グループワークによる話し合いや発表、生徒による意見表明も併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「思い込みの影響」「IT技術との付き合い方」「人間関係のあり方」「自分の文化への気付きと理解」等、生活や文化に関する会話を聞き取り、内容を把握する ・大学生活を想定した身近な会話や日常生活会話を聞き、それに基づいた問題演習をする 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、発表 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入、問題演習、解説に加え、生徒による意見の表明、発表も併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「思い込みの影響」「IT技術との付き合い方」「人間関係のあり方」「自分の文化への気付きと理解」等、生活や文化に関するテーマについての意見交換、関連項目についての議論をする ・大学生活を想定した身近な会話や日常生活会話を、提示されたモデルに基づいて練習する 【授業の形式】 問答、議論、発表 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、グループワークによる話し合いとその内容の共有、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 「思い込みの影響」「IT技術との付き合い方」「人間関係のあり方」「自分の文化への気付きと理解」等、生活や文化に関するテーマについての意見交換をした後、各々の意見を集約したり総合的な結論を出したりして発表する 【授業の形式】 問答、議論、発表 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、グループワークによる話し合いに基づいた発表、その後振り返りを行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・高等教育機関への進学や進学後を念頭に、より正確で読み手に伝わる文章を書くための知識や表現方法、構成方法を学び練習をする ・分析した上で意見を書いたり、「主語と述語の関係」「文の呼応」「文末表現の調整」などについて学んだことを活用し書く練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、文章執筆 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入、問題演習、文章執筆、解説。振り返り、教員によるフィードバック	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「思い込みの影響」「IT技術との付き合い方」「人間関係のありかた」「自分の文化への気付きと理解」等、生活や文化に関するエッセイ風の文章を読み内容を理解する際に必要な文法、表現を学習し、理解と運用につなげる ・感情表現、仮定、状況描写、比較、強調、条件、接続表現等の機能を持つ文法、表現を学習し、理解した上で場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答、議論、発表 講義型授業の中に頻繁に個人指名や挙手指名による問答を挟む問答型授業 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入、問題演習、解説に加え、グループワークによる話し合いや発表、生徒による意見表明も併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「思い込みの影響」「IT技術との付き合い方」「人間関係のありかた」「自分の文化への気付きと理解」等、生活や文化に関する散文的文章を読み内容を理解する際に必要な語彙、文字を学習し、理解と運用に繋げる ・家庭、仕事、人物描写等にかかわる機能を持つ語彙や、外国語に由来する語彙を学習し理解した上で、適切な選択、記述ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習、読み書き練習、解説、教師によるフィードバック、振り返り		
		教材等	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 ・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 〈三訂版〉ワークブック』研究社 ・オンライン教材	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 〈三訂版〉ワークブック』研究社 ・『聴くトレーニング<聴解・聴読解>基礎編』スリーエーネットワーク ・『日本語総まとめ N2聴解』アスク出版	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 ・『会話に挑戦！中級前期からの日本語ルールプレイ』スリーエーネットワーク ・オンライン教材	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 ・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 〈三訂版〉ワークブック』研究社	・『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク ・『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク ・オリジナルプリント	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 ・『総まとめN2文法』アスク出版 ・オリジナル自習教材	・『テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版』研究社 ・『総まとめN2語彙』アスク出版 ・オリジナル漢字プリント ・オリジナル自習用教材		

		授業科目名	読解	聴解	会話	発表	作文	総合活動	言語知識(文法)	言語知識(語彙)	文字
		言語活動	読む	聞く	話す(やりとり)	話す(発表)	書く	読む、話す(やりとり・発表)	読む・書く	読む・書く	読む・書く
参照枠	レベル 設定	学習目標 Can do	・明確な事実関係の文ならば、社会的、専門的な内容でも主題が理解できる ・主張のはっきりした論説的テキストの主要な結論を把握できる	・内容的にも言語的にもある程度複雑な講義、談話、報告の要点が理解できる ・興味や関心のあるテレビのニュースや時事問題の番組の要点が理解できる	・情報のやりとりや指示を受けることが十分にできる ・実践的な問題の解決について論じることができる ・因果関係や根拠も含めての意見交換ができる	・自分の分野に直接かわる話題について、練習しておけばある程度まとまったプレゼンテーションができる ・事実関係や、将来の可能性、計画を明確に語るができる ・意見や計画の理由や根拠を簡潔に話すことができる	・身近な話題や過去の活動、個人的な経験について、明瞭かつ詳細に書き述べる ことができる ・社会的な事象、時事的問題に関する意見や考えを、複文を使って書くことができる。	・社会的な内容のテーマや設問、短い資料を読んで理解し、自分の知識や考えを独力で、もしくはは他者と協働してまとめ、発表することができる ・他者の発表内容の概要を理解し、それについて賛意や共感などを示すことができる	・内容的にも言語的にもある程度複雑で社会的な内容の要点を把握するために必要な文法、表現が理解できる ・個人の経験や意見、将来の可能性や計画などを他者に伝えるために必要な文法、表現を使って書くことができる	・内容的にも言語的にもある程度複雑で社会的な内容の要点を把握するために必要な語彙、文字が理解できる ・個人の経験や意見、将来の可能性や計画などを他者に伝えるために必要な語彙、文字を使って書くことができる	
		学習成果の 評価・成績	【評価項目①】 明確な事実関係の文ならば、社会的、専門的な内容でも主題が理解できる (時期・頻度)各課毎／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【評価項目②】 主張のはっきりした論説的テキストの主要な結論を把握できる (時期・頻度)各課毎／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合) 自己評価10％、試験評価90％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 内容的にも言語的にもある程度複雑な議論、談話、報告の要点が理解できる (時期・頻度)各課毎／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価／試験評価 【評価項目②】 興味や関心のあるテレビのニュースや時事問題の番組の要点が理解できる (時期・頻度)各課毎 (評価の方法・基準)自己評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合) 自己評価10％、試験評価90％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 情報のやりとりや指示を受けることが十分にできる (時期・頻度)中上級前期中1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【評価項目②】 実践的な問題の解決について論じることができる (時期・頻度)中上級前期中1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【評価項目③】 因果関係や根拠も含めての意見交換ができる (時期・頻度)中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80％、自己評価10％、ピア評価10％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 自分の分野に直接かわる話題について、練習しておけばある程度まとまったプレゼンテーションができる (時期・頻度)中上級前期中1回／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価／パフォーマンス評価 【評価項目②】 意見や計画の理由や根拠を簡潔に話すことができる (時期・頻度)中上級前期中1回／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価／パフォーマンス評価 【評価項目③】 事実関係や将来の可能性、計画を明確に語ることができる (時期・頻度)中上級前期中1回／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価／パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80％、自己評価10％、ピア評価10％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 身近な話題や過去の活動、個人的な経験について、明瞭かつ詳細に書き述べる ことができる (時期・頻度)各単元毎／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価／自己評価、パフォーマンス評価 【評価項目②】 社会的な事象、時事的問題に関する意見や考えを、複文を使って書くことができる (時期・頻度)中上級前期中3回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80％、自己評価20％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 社会的な内容のテーマや設問、短い資料を読んで理解し、自分の知識や考えを独力で、もしくは他者と協働してまとめ、発表することができる (時期・頻度)中上級前期中3回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価、パフォーマンス評価 【評価項目③】 他者の発表内容の概要を理解し、それについて賛意や共感などを示すことができる (時期・頻度)中上級前期中3回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価、パフォーマンス評価 【評価項目④】 ある主題に関し「読んで理解すること」「知識や考えをまとめ発表すること」「他者の発表に対し賛意や共感などを示すこと」が、各々を組み合わせた上で統合的にできる (時期・頻度)中上級前期中3回 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合) パフォーマンス評価80％、自己評価10％、ピア評価10％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 内容的にも言語的にもある程度複雑で社会的な内容の要点を把握するために必要な文法、表現を読むことができる (時期・頻度)各課毎／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【評価項目②】 個人の経験や意見、将来の可能性や計画などを他者に伝えるために必要な文法、表現を書くことができる (時期・頻度)各課毎／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合)試験評価80％(項目①5割、項目②5割)、自己評価20％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 内容的にも言語的にもある程度複雑で社会的な内容の要点を把握するために必要な語彙、文字を読んで理解できる (時期・頻度)各課毎／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【評価項目②】 個人の経験や意見、将来の可能性や計画などを他者に伝えるために必要な語彙、文字を書くことができる (時期・頻度)各課毎／中上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合)試験評価80％(項目①5割、項目②5割)、自己評価20％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	
		学習時間	40単位時間	30単位時間	20単位時間	20単位時間	20単位時間	20単位時間	30単位時間		
B2	中上級1	授業科目の概要	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・健康、少子高齢化、慣習、大学生活等、社会・文化・政治等のテーマについて、意見文・論説文を読み、主題や細部を理解する ・時事的題材や社会の身近な問題を扱った文章を読む 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒どうしの議論、発表 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説に加え、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返りも併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・健康、少子高齢化、慣習、大学生活等、社会・文化・政治等のテーマを題材とした会話をきき、おおまかな内容を理解する ・時事的題材・社会の身近な問題を扱った音声ややや複雑な談話を聞いて概要を理解する 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒どうしの議論、発表 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説に加え、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返りも併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・健康、少子高齢化、慣習、大学生活等、社会・文化・政治等をテーマとしたやりとり(談話・議論)を行う ・会話を達成するための複数の方略についても学ぶ 【授業の形式】 生徒どうしの談話・議論、教師によるフィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、準備となる問題演習・解説、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 健康、少子高齢化、慣習、大学生活等、社会・文化・政治等をテーマとした発表、プレゼンテーションを行う 【授業の形式】 生徒による発表・プレゼンテーション、教師によるフィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、準備となる問題演習・解説、生徒個人、ペアワーク或いはグループワークによる発表、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・健康、少子高齢化、慣習、大学生活等、社会・文化・政治等をテーマとした意見、考えを書く ・簡潔に書く、情報を文章化する、状況を説明する、意見を述べる、といった、文章上の機能にも着目した練習、執筆を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒による作文執筆、教師による添削・フィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、準備となる問題演習・解説、生徒個人、ペアワーク或いはグループワークによる準備作業、執筆、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 健康、少子高齢化、慣習、大学生活等、社会・文化・政治等をテーマとした活動を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、生徒による準備作業、発表、問答、振り返り 【学習の形態】 教員による趣旨説明、個人あるいはグループワークによる準備作業、発表、質疑応答、議論と振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・健康、少子高齢化、観衆、大学生活等、社会・文化・政治等のテーマを題材とした意見文、論説文を読み、聞いて理解する際に必要な文法、表現を学習し、理解と運用に繋げる ・個人の経験や意見、将来の可能性や計画などを他者に伝えるために必要な文法、表現を学習し理解した上で、場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・健康、少子高齢化、観衆、大学生活等、社会・文化・政治等のテーマを題材とした意見文、論説文を読み、聞いて理解する際に必要な語彙、文字を学習し、理解と運用に繋げる ・個人の経験や意見、将来の可能性や計画などを他者に伝えるために必要な語彙、文字を学習し理解した上で、場面や目的に応じた適切な選択や記述ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説、振り返り	
		教材等	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・オンライン教材 ・新聞記事	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・ニュース映像、音声 ・『日本語総まとめ N2聴解』アスク出版	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・新聞・雑誌の記事、ウェブサイト等	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・『大学で学ぶための日本語ライティング短文からレポート作成まで』ジャパントائمズ	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・『大学で学ぶための日本語ライティング短文からレポート作成まで』ジャパントائمズ	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・新聞・雑誌の記事、ウェブサイト等	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・『学ぼう！にほんご中上級練習問題集』専門教育出版	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・『学ぼう！にほんご中上級練習問題集』専門教育出版 ・オリジナル語彙教材 ・オリジナル漢字教材	

		授業科目名	読解	聴解	会話	発表	作文	総合活動	言語知識(文法)	言語知識(語彙)	文字
		言語活動	読む	聞く	話す(やりとり)	話す(発表)	書く	読む、話す(やりとり・発表)	読む・書く	読む・書く	読む・書く
参照枠	レベル設定	学習目標 Can do	・主張のはっきりした論説的テキストの主張、結論が理解できる ・明確な事実関係の文で、難しい箇所を読み返すことができれば、社会的、専門的な内容も十分に主題が理解できる	・内容的にも言語的にも複雑で専門性のある議論、談話、報告の内容が概ね理解できる ・たいていのテレビのニュースや時事問題の番組の要点が理解できる	・より幅広い話題について、大学のゼミを想定した議論に参加できる ・熟達した日本語話者の気遣いを得ながらコミュニケーションができる	・自分の分野に直接かかわる話題について、練習しておけば明確かつ詳細なプレゼンテーションができる ・時事問題について、事前に準備をしていれば、自己の見方とその理由、根拠が説明できる	・社会的な事象、時事的問題に関する意見や考えを、根拠や事例を使いながら適切に強調しつつ書くことができる ・レポートや小論文など、モデルとなるフレームの提示が受けられれば、形式を意識して書き方を変えることができる	・社会的な内容のテーマや設問、資料を読んで理解し、自分の知識や考えを独力で、もしくは他者と協働してまとめ、発表することができる ・他者の発表内容や意図、元となる考えを理解し、それについて賛意や共感などを示すことができる	・社会的、専門的な内容を把握するために必要な文法、表現が理解できる ・議論に参加したり詳細なプレゼンテーションをするために必要な文法、表現を使って書くことができる	・社会的、専門的な内容を把握するために必要な語彙、文字が理解できる ・議論に参加したり詳細なプレゼンテーションをするために必要な語彙、文字を使って書くことができる	
B 2	中上級 2	学習成果の評価・成績	【評価項目①】 主張のはっきりした論説的テキストの主張、結論が理解できる (時期・頻度)各課毎／中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【評価項目②】 明確な事実関係の文で、難しい箇所を読み返すことができれば、社会的、専門的な内容も十分に主題が理解できる (時期・頻度)各課毎／中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合)自己評価10％、試験評価90％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 内容的にも言語的にもある程度複雑で専門性のある講義、談話、報告の内容が概ね理解できる (時期・頻度)各課毎／中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【評価項目②】 たいていのテレビのニュースや時事問題の番組の要点が理解できる (時期・頻度)各課毎 (評価の方法・基準)自己評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合)、自己評価10％、試験評価90％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 より幅広い話題について、大学のゼミを想定した議論に参加できる (時期・頻度)中上級後期中1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【評価項目②】 熟達した日本語話者の気遣いを得ながらコミュニケーションができる (時期・頻度)中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合)パフォーマンス評価80％、自己評価10％、ピア評価10％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 自分の分野に直接かかわる話題について、練習しておけば明確かつ詳細なプレゼンテーションができる (時期・頻度)中上級後期中1回／中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価／パフォーマンス評価 【評価項目②】 時事問題について、事前に準備をしていれば、自己の見方とその理由、根拠が説明できる (時期・頻度)中上級後期中1回／中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価／パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合)パフォーマンス評価80％、自己評価20％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 レポートや小論文など、モデルとなるフレームの提示が受けられれば、形式を意識して書き方を変えることができる (時期・頻度)各単元毎／中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価／自己評価、パフォーマンス評価 【評価項目②】 社会的な事象、時事的問題に関する意見や考えを、根拠や事例を使いながら適切に強調しつつ書くことができる (時期・頻度)中上級後期中3回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合)パフォーマンス評価80％、自己評価20％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 社会的な内容のテーマや設問、資料を読んで理解することができる (時期・頻度)中上級後期中3回 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目②】 自分の知識や考えを独力で、もしくは他者と協働してまとめ、発表することができる (時期・頻度)中上級後期中3回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価、パフォーマンス評価 【評価項目③】 他者の発表内容や意図、元となる考えを理解し、それについて賛意や共感などを示すことができる (時期・頻度)中上級後期中3回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価、パフォーマンス評価 【評価項目④】 ある主題に関し「読んで理解すること」「知識や考えをまとめ発表すること」「他者の発表の内容、意図、考えを理解し賛意や共感などを示すこと」が、各々を組み合わせた上で統合的にできる (時期・頻度)中上級後期中3回 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合)パフォーマンス評価80％、自己評価10％、ピア評価10％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 社会的、専門的な内容を把握するために必要な文法、表現を読むことができる (時期・頻度)各課毎／中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【評価項目②】 議論に参加したり詳細なプレゼンテーションをするために必要な文法、表現を使って書くことができる (時期・頻度)各課毎／中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合)試験評価80％(項目①5割、項目②5割)、自己評価20％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 社会的、専門的な内容を把握するために必要な語彙、文字が理解できる (時期・頻度)各課毎／中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【評価項目②】 議論に参加したり詳細なプレゼンテーションをするために必要な語彙、文字を使って書くことができる (時期・頻度)各課毎／中上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価／試験評価 【成績】 (基準) A＝100-90％、B＝89-75％、C＝74-60％、D＝59-30％、E＝30％未満 (評価項目の構成割合)試験評価80％(項目①5割、項目②5割)、自己評価20％ 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	
		学習時間	4 0 単位時間	3 0 単位時間	2 0 単位時間	2 0 単位時間	2 0 単位時間	2 0 単位時間	2 0 単位時間	3 0 単位時間	
		授業科目の概要	【扱うテーマ・課題、学習項目】 少年犯罪報道、ボランティア、地方過疎化、食糧問題、格差社会、国際協力等、社会・文化・政治等のテーマについて、意見文・論説文を読み、主題や細部を理解する 時事的題材や社会の身近な問題を扱った文章を読む 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒どうしの議論、発表 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説に加え、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返りも併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 少年犯罪報道、ボランティア、地方過疎化、食糧問題、格差社会、国際協力等、社会・文化・政治等のテーマを題材とした会話を聞き、内容を理解する 時事的題材・社会の身近な問題を扱った音声や複雑な談話を聞いて内容を理解する 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒どうしの議論、発表 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説に加え、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返りも併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 少年犯罪報道、ボランティア、地方過疎化、食糧問題、格差社会、国際協力等、社会・文化・政治等をテーマとした発表・ブレゼンテーションを行う。 【授業の形式】 生徒による発表・プレゼンテーション、教師によるフィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、準備となる問題演習・解説、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 少年犯罪報道、ボランティア、地方過疎化、食糧問題、格差社会、国際協力等、社会・文化・政治等をテーマとした意見・考レゼンテーションを行う。 【授業の形式】 生徒による発表・プレゼンテーション、教師によるフィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、準備となる問題演習・解説、生徒個人、ペアワーク或いはグループワークによる準備作業、発表、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 少年犯罪報道、ボランティア、地方過疎化、食糧問題、格差社会、国際協力等、社会・文化・政治等をテーマとした意見・考えを書く。 レポート、意見文、紹介文、小論文といった、文章上の機能にも着目した練習、執筆、発表を行う。 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒による作文執筆、教師による添削・フィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、準備となる問題演習・解説、生徒個人、ペアワーク或いはグループワークによる準備作業、執筆、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 少年犯罪報道、ボランティア、地方過疎化、食糧問題、格差社会、国際協力等、社会・文化・政治等のテーマを題材とした意見文、論説文を読み、聞いて理解する際に必要な文法、表現を学習し、理解と運用に繋げる 議論に参加したり詳細なプレゼンテーションをするために必要な文法、表現を学習し理解した上で、場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、生徒による準備作業、発表、問答、振り返り 【学習の形態】 教員による趣旨説明、個人あるいはグループワークによる準備作業、発表、質疑応答、議論と振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 少年犯罪報道、ボランティア、地方過疎化、食糧問題、格差社会、国際協力等、社会・文化・政治等のテーマを題材とした意見文、論説文を読み、聞いて理解する際に必要な文法、表現を学習し、理解と運用に繋げる 議論に参加したり詳細なプレゼンテーションをするために必要な語彙、文字を学習し理解した上で、場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 少年犯罪報道、ボランティア、地方過疎化、食糧問題、格差社会、国際協力等、社会・文化・政治等のテーマを題材とした意見文、論説文を読み、聞いて理解する際に必要な語彙、文字を学習し、理解と運用に繋げる 議論に参加したり詳細なプレゼンテーションをするために必要な語彙、文字を学習し理解した上で、場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説、振り返り	
		教材等	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・オンライン教材 ・新聞記事	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・ニュース映像、音声	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・新聞・雑誌の記事、ウェブサイト等	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・新聞・雑誌の記事、ウェブサイト等 ・オリジナル教材	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・『大学で学ぶための日本語ライティング短文からレポート作成まで』ジャパントائمズ	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・新聞・雑誌の記事、ウェブサイト等	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・『学ぼう！にほんご中上級練習問題集』専門教育出版	・『学ぼう！にほんご中上級』専門教育出版 ・『学ぼう！にほんご中上級練習問題集』専門教育出版 ・オリジナル語彙教材 ・オリジナル漢字教材	

		授業科目名	読解	聴解	会話	発表	作文	総合活動	言語知識(文法)	言語知識(語彙)	文字
		言語活動	読む	聞く	話す(やりとり)	話す(発表)	書く	読む、話す(やりとり・発表)	読む・書く	読む・書く	読む・書く
参照枠	レベル設定	学習目標 Can do	・散文的テキストの行間、筆者の意図の主要な部分を読み取れる ・ある立場や視点から取り上げられた現代の問題に関する記事やレポートの主要な内容が理解できる	・内容的にも言語的にも複雑で専門性のある議論、談話、報告の内容が理解できる ・たいていのテレビのニュースや時事問題の番組の内容が理解できる	・熟達した日本語話者に、さほど気遣いを感じさせずコミュニケーションができる ・自分の専門分野に関連した事柄なら、議論を進め、相手が強調した点を詳しく理解しながらやりとりできる	・自分の関心のある分野に関連した話題について、明確にプレゼンテーションすることができる ・実際の事例を挙げて主張を強化したり、適切に要点を強調することができる	・自分の関心がある専門分野の話題について、ある視点に対する賛否や理由を挙げたり、さまざまな選択肢の利点と不利な点を比較して説明ができる ・複数から集めた情報や議論をまとめることができる	・社会的、時事的な内容や専門性があるテーマや設問、関連資料を読んで理解し、自分の知識や考えを独力で、もしくは他者と協働してまとめ、発表することができる ・他者の発表内容や意図、元となる考えを理解し、それについて賛意や共感、反論などを含めた複数ターンのやりとりができる	・散文的テキストの主題や、複雑で専門性のある内容を把握するために必要な文法、表現が理解できる ・議論を進めたり他者と協働しながら内容をまとめて発表したりするために必要な文法、表現を使って書くことができる	・散文的テキストの主題や、複雑で専門性のある内容を把握するために必要な語彙、文字が理解できる ・議論を進めたり他者と協働しながら内容をまとめて発表・発信したりするために必要な語彙、文字を使って書くことができる	
B2	上級1	学習成果の評価・成績	【評価項目①】 散文的テキストの行間、筆者の意図の主要な部分を読み取れる (時期・頻度)各課毎/上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【評価項目②】 ある立場や視点から取り上げられた現代の問題に関する記事やレポートの主要な内容が理解できる (時期・頻度)各単元毎 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目③】 難しい箇所を読み返すことができれば、自分の関係分野の長い複雑な説明が理解できる (時期・頻度)上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)自己評価10%、試験評価90% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 内容的にも言語的にも複雑で専門性のある議論、談話、報告の内容が理解できる (時期・頻度)各課毎/上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価/試験評価 【評価項目②】 たいていのテレビのニュースや時事問題の番組の内容が理解できる (時期・頻度)各単元毎/上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)自己評価10%、試験評価90% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 自分の専門分野に関連した事柄なら、議論を進め、相手が強調した点を詳しく理解しながらやりとりできる (時期・頻度)各課毎 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目②】 熟達した日本語話者に、さほど気遣いを感じさせずコミュニケーションができる (時期・頻度)上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)パフォーマンス評価90%、自己評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 自分の関心のある分野に関連した話題について、明確にプレゼンテーションすることができる (時期・頻度)上級前期中2回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【評価項目②】 実際の事例を挙げて主張を強化したり、適切に要点を強調することができる (時期・頻度)上級前期中2回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)パフォーマンス評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 複数から集めた情報や議論をまとめることができる (時期・頻度)上級前期中1回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【評価項目②】 自分の関心がある専門分野の話題について、ある視点に対する賛否や理由を挙げたり、様々な選択肢の利点と不利な点を比較して説明ができる (時期・頻度)上級前期中2回 (評価の方法・基準)パフォーマンス評価、自己評価、ピア評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)パフォーマンス評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 社会的、時事的な内容や専門性があるテーマや設問、関連資料を読んで理解することができる (時期・頻度)上級前期中2回 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目②】 自分の知識や考えを独力で、もしくは他者と協働してまとめ、発表することができる (時期・頻度)上級前期中2回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価、パフォーマンス評価 【評価項目③】 他者の発表内容や意図、元となる考えを理解し、それについて賛意や共感、反論などを含めた複数ターンのやりとりができる (時期・頻度)上級前期中2回 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価 【評価項目④】 ある主題に関し「読んで理解すること」「知識や考えをまとめ発表すること」「他者の発表について複数ターンのやりとりができること」が、各々を組み合わせた上で統合的にできる (時期・頻度)上級前期中2回 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマンス評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)パフォーマンス評価80%、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 散文的テキストの主題や、複雑で専門性のある内容を把握するために必要な文法、表現を読むことができる (時期・頻度)各課毎/上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【評価項目②】 議論を進めたり他者と協働しながら内容をまとめて発表したりするために必要な文法、表現を使って書くことができる (時期・頻度)各課毎/上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)試験評価90%(項目①5割、項目②5割)、自己評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 散文的テキストの主題や、複雑で専門性のある内容を把握するために必要な文法、表現を読むことができる (時期・頻度)各課毎/上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【評価項目②】 議論を進めたり他者と協働しながら内容をまとめて発表したりするために必要な文法、表現を使って書くことができる (時期・頻度)各課毎/上級前期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)試験評価90%(項目①5割、項目②5割)、自己評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	
		学習時間	40単位時間	20単位時間	20単位時間	30単位時間	30単位時間	20単位時間	20単位時間	20単位時間	
		授業科目の概要	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「直接経験することの重要性」「社会における人間関係」「社会生活における言葉遣い」「報道とその内容、報道の仕方」等、社会生活や文化に関する散文的文章を読み、内容を理解し考察する ・環境問題やIT・情報社会、自然保護といった現代の問題に関する文章を読み、内容を理解し考察する 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒どうしの議論、発表 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説に加え、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返りも併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「直接経験することの重要性」「社会における人間関係」「社会生活における言葉遣い」「報道とその内容、報道の仕方」等、社会生活や文化に関する内容を聞き、理解する 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒どうしの議論、発表 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説に加え、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返りも併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「直接経験することの重要性」「社会における人間関係」「社会生活における言葉遣い」「報道とその内容、報道の仕方」等、社会生活や文化をテーマとした発表・プレゼンテーションを行う ・時事的内容について、定められたテーマやタスク、役割分担にのったやりとり、話し合いを行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒どうしの議論、発表 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「直接経験することの重要性」「社会における人間関係」「社会生活における言葉遣い」「報道とその内容、報道の仕方」等、社会生活や文化をテーマとした発表・プレゼンテーションを行う ・提示された時事的話題の中から選択し、内容を紹介するプレゼンテーションや、関連事例を挙げながら主張の強化や要点を強調する発表を行う 【授業の形式】 生徒による発表・プレゼンテーション、教師によるフィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、発表準備作業、発表と振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・実際に起こっている社会問題、時事的な内容を取り上げ、各回のテーマに沿った形で文章の執筆を行う ・参考資料としてニュース記事なども適宜利用し、複数から情報や議論を集めてまとめる作業を行う ・レポート文、論説文、説明文、経過を述べる文など、趣旨や伝達内容に応じた書き方、構成を学び、練習、執筆を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒による作文執筆、教師による添削・フィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、準備となる問題演習・解説、準備作業、執筆、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「直接経験することの重要性」「社会における人間関係」「社会生活における言葉遣い」「報道とその内容、報道の仕方」等、社会・文化・政治等をテーマとした活動を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、生徒による準備作業、発表、問答、振り返り 【学習の形態】 教員による趣旨説明、個人あるいはグループワークによる準備作業、発表、質疑応答、議論と振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「直接経験することの重要性」「社会における人間関係」「社会生活における言葉遣い」「報道とその内容、報道の仕方」等、社会生活や文化に関する内容を理解する際に必要な語彙、文字を学習し、理解と運用に繋げる ・議論を進めたり他者と協働しながら内容をまとめて発表、発信したりするために必要な文法、表現を学習し理解した上で、場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「直接経験することの重要性」「社会における人間関係」「社会生活における言葉遣い」「報道とその内容、報道の仕方」等、社会生活や文化に関する内容を理解する際に必要な語彙、文字を学習し、理解と運用に繋げる ・議論を進めたり他者と協働しながら内容をまとめて発表、発信したりするために必要な語彙、文字を学習し理解した上で、場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説、振り返り	
		教材等	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・『上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク出版 ・新聞記事 ・オンライン教材	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・『上級で学ぶ日本語ワークブック』三訂版 研究社 ・ニュース映像・音声	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・時事教材	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・時事教材	・『留学生のための論理的な文章の書き方』新訂版 スリーエーネットワーク ・時事教材、新聞・ニュース記事	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・時事教材	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・時事教材	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・時事教材 ・オリジナル語彙教材 ・オリジナル漢字教材	

		授業科目名	読解	聴解	会話	発表	作文	総合活動	言語知識(文法)	言語知識(語彙)	文字
		言語活動	読む	聞く	話す(やりとり)	話す(発表)	書く	読む、話す(やりとり・発表)	読む・書く	読む・書く	読む・書く
参照枠	レベル設定	学習目標 Can do	・散文的テキストの行間、筆者の意図が十分に読み取れる ・慣用句も一定程度理解でき、適切な参考資料を選択して使いながら、様々な目的や文章の種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら、独力でかなりのところまで読み解ける	・内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的、専門的なプレゼンテーションの要点が理解できる ・たいていのテレビのニュースや時事問題の番組が理解できる	・幅広い話題について流暢に、正確に、効果的にことばを使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりとさせることができる ・文法も正確で、その場にふさわしい丁寧さでコミュニケーションできる ・熟達した日本語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせず流暢に自然に会話できる	・自分の関心のある分野に関連した、広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる ・時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる	・情報や議論をまとめて評価したうえで、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細な文章を書くことができる ・議論や論点を整然と展開しつつ、様々な形式に対応した書き方ができる	・社会的、時事的な内容や専門性があるテーマや設問について、独力もしくは他者と協働して必要な資料を集めたり調べたりして、得られた内容やそれに対する意見をまとめ、発表することができる ・他者の発表内容や意図を十分理解し、それについて賛意や共感、反論などを含めた複数ターンのやりとりができる	・適切な参考資料を使ってある程度独力で読んだり、ニュースや時事問題の内容を理解するために必要な文法、表現が理解できる ・時事問題を取り上げて議論や論点を進めたり、多様な話題について明確で詳細な文章を発信したりするのに必要な文法、表現を使って書くことができる	・適切な参考資料を使ってある程度独力で読んだり、ニュースや時事問題の内容を理解するために必要な文字、語彙、文字が理解できる ・時事問題を取り上げて議論や論点を進めたり、多様な話題について明確で詳細な文章を発信したりするのに必要な語彙、文字を使って書くことができる	
B 2	上級 2	学習成果の評価・成績	【評価項目①】 散文的テキストの行間、筆者の意図が十分に読み取れる (時期・頻度)各課毎/上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【評価項目②】 慣用句も一定程度理解でき、適切な参考資料を選択して使いながら、様々な目的や文書の種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら、独力でかなりのところまで読み解ける (時期・頻度)各単元毎/上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)自己評価10%、試験評価90% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 個人間、社会、学問、職業の世界で通常で会う話題について理解できる (時期・頻度)各課毎/上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)各課毎自己評価/試験評価 【評価項目②】 情報の内容だけでなく、話し手の視点や事柄に対する姿勢が聞き取れる (時期・頻度)各課毎/上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)自己評価10%、試験評価90% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 幅広い話題について、流暢に、正確に、効果的にことばを使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりとさせることができる (時期・頻度)各課毎 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目②】 文法も正確で、その場にふさわしい丁寧さでコミュニケーションができる (時期・頻度)各課毎 (評価の方法・基準)パフォーマズ評価、自己評価 【評価項目③】 熟達した日本語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせず、流暢に自然に対話できる (時期・頻度)上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)パフォーマズ評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)パフォーマズ評価90%、自己評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる (時期・頻度)上級後期中2回 (評価の方法・基準)パフォーマズ評価、自己評価、ピア評価 【評価項目②】 時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる (時期・頻度)上級後期中2回 (評価の方法・基準)パフォーマズ評価、自己評価、ピア評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)パフォーマズ評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 情報や議論をまとめて評価したうえで、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細な文章を書くことができる (時期・頻度)上級後期中1回 (評価の方法・基準)パフォーマズ評価、自己評価、ピア評価 【評価項目②】 議論や論点を整然と展開しつつ、様々な形式に対応した書き方ができる (時期・頻度)上級後期中2回 (評価の方法・基準)パフォーマズ評価、自己評価、ピア評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)パフォーマズ評価80%、自己評価10%、ピア評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 社会的、時事的な内容や専門性があるテーマや設問について、独力もしくは他者と協働して必要な資料を集めたり調べたりして、必要な内容を得ることができる (時期・頻度)上級後期中2回 (評価の方法・基準)自己評価 【評価項目②】 得られた内容やそれに対する意見をまとめ、発表することができる (時期・頻度)上級後期中2回 (評価の方法・基準)自己評価、ピア評価、パフォーマズ評価 【評価項目③】 他者の発表内容や意図を十分理解し、それについて賛意や共感、反論などを含めた複数ターンのやりとりができる (時期・頻度)上級後期中2回 (評価の方法・基準)自己評価、他己評価、パフォーマズ評価 【評価項目④】 ある主題に関し「必要な資料を集めたり調べたりして読み、理解すること」「得られた内容やそれについての意見をまとめ発表すること」「他者の発表内容や意図を十分理解し、それについての賛意や共感、反論などを含めた複数ターンのやりとりができること」が、各々を組み合わせた上で統合的にできる (時期・頻度)上級後期中2回 (評価の方法・基準)自己評価、パフォーマズ評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)パフォーマズ評価80%、自己評価20% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 適切な参考資料を使ってある程度独力で読んだり、ニュースや時事問題の内容を理解するために必要な文法、表現を読むことができる (時期・頻度)各課毎/上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【評価項目②】 時事問題を取り上げて議論や論点を進めたり、多様な話題について明確で詳細な文章を発信したりするのに必要な文法、表現を使って書くことができる (時期・頻度)各課毎/上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)試験評価90%(項目①5割、項目②5割)、パフォーマズ評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	【評価項目①】 適切な参考資料を使ってある程度独力で読んだり、ニュースや時事問題の内容を理解するために必要な文字、語彙を読むことができる (時期・頻度)各課毎/上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【評価項目②】 時事問題を取り上げて議論や論点を進めたり、多様な話題について明確で詳細な文章を発信したりするのに必要な文字、語彙を使って書くことができる (時期・頻度)各課毎/上級後期終了前1回 (評価の方法・基準)自己評価、試験評価/試験評価 【成績】 (基準) A=100-90%、B=89-75%、C=74-60%、D=59-30%、E=30%未満 (評価項目の構成割合)試験評価90%(項目①5割、項目②5割)、自己評価10% 【科目・レベル修了要件】 D以下の成績がないこと	
		学習時間	40単位時間	20単位時間	20単位時間	30単位時間	30単位時間	20単位時間	20単位時間	20単位時間	
		授業科目の概要	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「社会の安全」「人生における選択」「持続可能性」「多文化共生」等、社会生活や文化に関する内容をテーマとして読み、内容を理解し考察する ・教育問題や科学と技術といった現代の問題に関する文章を読んで考察したり、テーマに関連した資料を適切に選択し、独力で概要を把握する 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、読解作業、生徒どうしの議論、発表 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説に加え、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返りも併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「社会の安全」「人生における選択」「持続可能性」「多文化共生」等、社会生活や文化に関する内容をテーマとして読み、内容を理解し考察する ・時事的な内容を聞き、理解する 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒どうしの議論、発表 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説に加え、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い及び発表、振り返りも併せて行う	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「社会の安全」「人生における選択」「持続可能性」「多文化共生」等、社会生活や文化に関する内容をテーマとしたやりとり、議論を行う ・時事的な内容について、定められたテーマやタスク、場面、役割分担にのっとりやりとり、話し合いを行う 【授業の形式】 生徒どうしの談話・議論、教師によるフィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、ペアワーク或いはグループワークによる話し合い、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「社会の安全」「人生における選択」「持続可能性」「多文化共生」等、社会生活や文化に関する内容をテーマとした発表・プレゼンテーションを行う ・内容的に加え将来の可能性、長所や短所も示したプレゼンテーションを行い、自己の見方を説明する 【授業の形式】 生徒による発表・プレゼンテーション、教師によるフィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、発表準備作業、発表と振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「社会の安全」「人生における選択」「持続可能性」「多文化共生」等、社会生活や文化に関する内容をテーマにした形で文章の執筆を行う ・参考資料としてニュース記事なども適宜利用し、複数から情報や議論を集めてまとめたり評価しありする作業も行う ・比較対照、因果関係、資料を利用したレポート等、これまでの学習内容を駆使し、目的に応じて書き方、構成を使い分ける練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、教員の指名による問答、生徒による作文執筆、教師による添削・フィードバック 【学習の形態、方法】 教員による趣旨説明、準備となる問題演習・解説、準備作業、執筆、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「社会の安全」「人生における選択」「持続可能性」「多文化共生」等、社会生活や文化に関する内容を理解する際に必要な文法、表現を学習し、理解と運用に繋げる ・時事問題を取り上げて議論や論点を進めたり、多様な話題について明確で詳細な文章を発信するために必要な文法や表現を学習し理解した上で、場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、生徒による準備作業、発表、問答、振り返り 【学習の形態】 教員による趣旨説明、個人あるいはグループワークによる準備作業、発表、質疑応答、議論と振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「社会の安全」「人生における選択」「持続可能性」「多文化共生」等、社会生活や文化に関する内容を理解する際に必要な文法、表現を学習し、理解と運用に繋げる ・時事問題を取り上げて議論や論点を進めたり、多様な話題について明確で詳細な文章を発信するために必要な文法や表現を学習し理解した上で、場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説、振り返り	【扱うテーマ・課題、学習項目】 ・「社会の安全」「人生における選択」「持続可能性」「多文化共生」等、社会生活や文化に関する内容を理解する際に必要な語彙、文字を学習し、理解と運用に繋げる ・時事問題を取り上げて議論や論点を進めたり、多様な話題について明確で詳細な文章を発信するために必要な語彙、文字を学習し理解した上で、場面や目的に応じた適切な選択ができるよう練習を行う 【授業の形式】 知識・情報の伝達、問答 【学習の形態、方法】 教員対生徒全員による知識導入及び問題演習・解説、振り返り	
		教材等	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク出版 ・新聞記事 ・オンライン教材	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・『上級で学ぶ日本語 ワークブック』三訂版 研究社 ・ニュース映像・音声	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・時事教材	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・時事教材	・『留学生のための論理的な文章の書き方』新訂版 スリーエーネットワーク ・時事教材 ・新聞・ニュース記事	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・時事教材	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・時事教材	・『上級で学ぶ日本語』三訂版 研究社 ・時事教材 ・オリジナル語彙教材 ・オリジナル漢字教材	